

⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
あ阿 か可 蜂止 とい以 ふ不	した志 た多 な奈 ど止 に尔 つ徒 く久 る留 を遠	ち知 と止 とい以 ひ比 木乃 の枝 軒乃 の乃	う宇 ち知 に尔 つ川 く久 る留 を遠 あ安 な奈 ば波	の乃 蜂安 あり利 巢遠 を あ阿 なの奈 乃	ミ三 つ川 蜂乃 の本 ほ可 かに尔 さま左 ま満 ぐ	蜂巢 木枝 軒	第五課

(本文の右の行は、それぞれのひらがなの元の漢字です)

どうしても読めない文字がある時は、前や後ろに同じ文字がないか、形が近い文字がないか、探してみましょう。

たとえば③の「ほ」「か」「に」の場合、「か」は後ろの⑧にも同じ文字が出てきます。⑧の「あ」は前の④でも同じ文字が出てきていました。④は「巢を■なのうち■つくるを」という文章の中で出てきていますので、文章から「■な」は「巢をつくる場所」を指していると考えられます。ここで「穴」→「あな」→④の「■」=「あ」とわかれば、⑧は「あ■蜂」となり、⑧の「あ■蜂」は「蜂の名称」とであると範囲を絞って考えることができます。そうすると、文字とにらめっこしなくても、辞書や図鑑など、別の角度からあてはまる文字を導き出すことができます。同じ要領で「に」もわかれば、あとは「ほ」だけです。

このように、読めない文字に出くわしても、全体を見渡してみると、別の入口が見つかることがあります。そこで新たな手がかりが増えれば、読める可能性がひろがっていきます。

また、大半は読めたけど、数文字だけが読めないという時は、いつ？だれが？どこで？なんのために？など、資料の背景を考えてみましょう。どのような資料なのか？どのような文脈の中で出てくるのか？そこから推測していくことで、読み解ける場合もあります(これは、虫くいや損傷で物理的に読めない場合にも応用することができます)。